

2016年2月8日

#### 第4回「みちのく復興事業シンポジウム」を開催 東北から地域の未来を描く ～これからの企業の役割を考える～

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、以下「電通」）も参画する「みちのく復興事業パートナーズ」は、NPO 法人 ETIC.との共催で、これまでの東北復興の実践を通じ、地域社会の未来とこれからの企業の役割を考えるシンポジウムを、東日本大震災から5年となる3月8日に開催いたします。

「みちのく復興事業パートナーズ」は、東北で活躍する起業家、NPO・団体などを企業が協働で支えるプラットフォームです。現在、いすゞ自動車株式会社、花王株式会社、株式会社ジェーシービー、株式会社損害保険ジャパン日本興亜、株式会社東芝、株式会社ベネッセホールディングス、電通の7社が参画しています。

東北の被災地は、高台移転や復興住宅の建設が進み、暮らしの土台が整えられていくフェーズに入ってきました。一方で、震災前から抱えてきた人口減少・高齢化・経済縮小などの社会課題が顕在化しており、インフラの復旧にとどまらない、新たな経済や豊かな暮らしの作り方が求められています。

今回のシンポジウムでは、東北で生まれた先行事例からの学びや発見を基に、これからの地域社会のあり方と可能性、企業の関わり方について議論します。

##### 〈シンポジウムの概要〉

タイトル：第4回「みちのく復興事業シンポジウム」

日時：3月8日(火) 午後3時～午後5時45分（開場：午後2時30分）

場所：電通ホール（東京都港区東新橋1-8-1 電通本社ビル内）

共催：みちのく復興事業パートナーズ、NPO 法人 ETIC.

対象：企業のCSR・社会貢献担当者、人事担当者、復興や地方創生に関心のある方

定員：300名

##### 〈プログラム内容〉（以下予定、敬称略）

■基調講演：東北から生まれる地域の未来とは？

①株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介

②株式会社森の学校ホールディングス 代表取締役 牧 大介（西粟倉の事例から東北を考える）

■東北で活躍する担い手からのプレゼンテーション

①一般社団法人りぷらす 代表理事 橋本 大吾

②一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン 長谷川 琢也

③NPO 法人アスヘノキボウ 代表理事 小松 洋介

★モデレーター：NPO 法人 ETIC. 理事・事業統括ディレクター 山内 幸治

■ディスカッション：これからの企業の役割を考える

入川スタイル&ホールディングス株式会社 代表取締役 入川 秀人

株式会社森の学校ホールディングス 代表取締役 牧 大介

NPO 法人アスヘノキボウ 代表理事 小松 洋介

★モデレーター：NPO 法人 ETIC. 代表理事 宮城 治男

以 上

本シンポジウムの取材をご希望の場合、下記までご連絡ください。

NPO 法人 ETIC. 石塚、海津、山内（亮太）

TEL：03-5784-2115

FAX：03-5784-2116

E-mail：info@michinokupartners.jp

【本シンポジウムに関する問い合わせ先】

株式会社電通 総務局社会貢献部 阪中、田中

TEL：03-6216-8469